

教育研究業績書

令和5年5月1日

氏名 樋口 勝一

教育上の能力に関する事項

事項	年月	概要
1 教育方法の実践例 ・大人数古典的双方向スパイラル授業の実践	平成26年4月 ～平成31年3月	基盤教育科目「数的処理の基礎」、「入門物理学1・2」において、70～300名超の受講者に対応するため、「基礎内容とする」、「オリジナル演習型テキストと対応小テストで繰り返しドリル学習」、「授業開始時・終了時の挨拶励行などマナー強化」、「授業評価の厳格化・透明化」、「座席指定」、「コメントシートの利用」、「机間巡視」を取り入れた古典的スパイラル授業を実践した。学生アンケート結果では学生評価平均が5段階で4程度と大人数授業としては満足の得られるものとなった。
・情報リテラシー科目における複数クラスのマネジメントマニュアルの作成と利用	平成26年4月 ～平成31年3月	基盤教育科目「コンピュータ入門1・2」において、各13クラス程度の複数クラスを複数の専任教員・非常勤教員、委託教員が担当している。「同じ名称の授業は同じ品質と内容を提供すること」を目標に、それら科目の取りまとめ役として、「授業実施マニュアルの作成（授業進行表、統一教材など配布資料、詳細な授業評価表を含む）」を作成した。これをもとに、各教員に授業をおこなってもらい、そのマネジメントをおこなった。結果として、これまで、ばらばらに行われていた本科目の指導が、統一的に実施可能となった（平成26年度～平成31年度まで。平成25年度以前は神戸海星女子大学においても実践）。
・検定取得を動機づけとした指導実践	平成13年4月 ～現在	一般教養コンピュータ基礎科目において、検定（日本語ワープロ技能標準試験2・3級、表計算技能標準試験2・3級など）取得を動機づけに指導をおこなった。多数の合格者を輩出している。
・正課外における秘書検定対策自学自習勉強会の実施	平成29年4月 ～令和元年11月、令和4年4月～現在	正課外講座として「秘書検勉強会」を開催した。検定概要説明、必要テキストと学修進度を示すプリントと過去問を随時配布し、講座時間内で各自が自分のペースで与えられた教材等を学習した。検定合格者を多数輩出している。
2 作成した教科書・教材 ・パソコン標準試験対策ポイント&過去問集冊子	令和27年4月 ～現在	一般教養コンピュータ基礎科目における検定対策教材を作成した。
・教員採用試験対策ガイドブック	平成26年4月 ～同29年3月	教職学生指導のためのガイドブックを作製した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価	平成30年7月	専務理事・常務理事指名により、全学教授会にて繰り返しスパイラル式・大人数数学基礎授業の実践報告を行った。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		

様式第4号（教員個人に関する書類）

5 その他						
職務上の実績に関する事項						
事項		年月		概要		
1 資格、免許						
2 学校現場等での実務経験						
3 実務の経験を有する者についての特記事項						
4 その他						
担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概要
情報処理演習Ⅰ・Ⅱ	(著書) 1.繰り返して慣れる!Office演習ドリル 2016 対応全489題	単	平成30年10月	IT出版	185 (185)	Windows,Word,Excel,PowerPoint,Email,Internet ソフトの学習書. 特に,ドリル問題が多数あり,問題を数多く解くことで理解を深められるが特徴である.
	2.繰り返して慣れる!Office演習ドリルバージョンフリー版全489題 (学術論文等)	単	令和5年1月	IT出版	214 (214)	上記のバージョンフリー版.
	1.Quality assurance for education content and evaluation of mastery of skills by using qualifying examinations in university classes	単	平成24年2月	2012 IIAI,CPS pp.309-313	5 (5)	大学の授業に対する質保証のツールとして「検定」を利用することを考察する.メリットは「目標の明確さ」,「マネジメントのしやすさ」,「学生の学習動機づけ効果」の3つあると考える.本研究では,取組事例を紹介する.
	2.Introduction of practical cases for systematic management of Liberal Arts education	共	平成25年9月	2013 IIAI,CPS pp.405-406	2 (2)	大学における1・2年次生対象の一般教養科目,学部・学科共通科目の組織的な運営の実践事例を3つ紹介する.授業内容,進度,テキストの選定,成績評価方法などを担当専任教員が中心となり統一的に運営するよう改善をおこなった. (IV章のうち, I章, II章-2を担当)p.405-406
3.大学生の入学時における情報基礎力と一般教養科目における情報基礎授業内容	単	平成28年8月	追手門学院大学情報メディア課年報第1号 pp.10-19	10 (10)	大学生の入学時における情報基礎力を推定するための現状分析をおこなった.全国学力・学習状況調査の数学を例にして大学全入時代における大学生の数学基礎学力の低下を示すことで,情報基礎力も同様の結果になると推定した.	
4.基盤教育科目	単	平成31年1	追手門学	8	2015年度より、「入門コンピュータ1・	

様式第4号 (教員個人に関する書類)

	「入門コンピュータ」における複数クラスのマネジメント		月	院 大 学 情 報 メ デ ィ ア 課 年 報 第 3 号 p.18-25	(8)	2」の運営について、「学生の現状能力に合わせたオフィスソフトの基礎を内容として、複数クラスを統一的マネジメントすること」を目標に改革を進めてきた。①統一シラバス ②内容はオフィスソフトの基礎を中心 にすること③希望者全員が受講できる こと④パソコン関連検定（日本語ワー プロ技能標準試験、表計算技能標準試験） の合格をめざすこと⑤関連部署との連 携を図ること⑥上記についての授業運 営マニュアルを作成することを掲げた。
	5. 学生の出席状況と授業評価の関係～情報処理演習Ⅱの結果から～	共	令和 3 年 3 月	甲 子 園 短 期 大 学 紀 要 NO.39 p.7-13	7 (7)	担当教員・方法・内容を統一された、また、受講生も同一学部・学科とされた2クラスの同一授業科目において、学生の出席率と授業評価の関係を分析した。その結果、「速度」、「難易度」、「量」といった具体的な項目と総合的な「授業満足度」について、出席率の高いクラスの方が、高い授業評価が得られることが判明した。
数学の基礎	(著書) 1.大学生のためのリアル電磁気学入門	共	平成 20 年 3 月	晃 洋 書 房 (全 151 ページ) 瀬 波 大 土	151 (151)	数学を使って電磁気学を学ぶことを目標とした力学入門テキスト。微分・積分やベクトル解析にページを割いた。中学レベルの内容から始まり、最終的には少し高度ではあるが、マクスウェル方程式まで教科書。(全頁担当。共著者は内容チェック)
	2.量子力学学習ノート～シュレディンガー方程式入門	共	平成 23 年 8 月	ノ ア 出 版 (全 80 ページ) 草 場 光 博、広 田 正 行、瀬 波 大 土	80 (68)	物理を学習する前に、物理を記述するための道具としての数学を身につけておくべきであるというコンセプトのもと、物理に必要な基本的な数学を一から学習する内容に多くのページを割いた。量子力学の内容として、また、タイトルも「量子力学」と大それたことを掲げているが、実際は、簡単なシュレディンガー方程式を解けるようになることをめざしている。(監修、編著 p.1-33,p.46-80を担当)
	3.教員採用試験・SPI・就職試験対策用 これならわかる大学生のための数学・理科基礎計算ドリル	単	平成 24 年 10 月	晃 洋 書 房 (全 179 ページ)	179 (179)	就職試験 (SPI など)、教員採用試験では、数学・物理科目が頻出で、かつ、その部分で得点の差が出ると言われている。文科系の大学生には、数学・物理が不得意な人も多く、彼らがこの分野をドリル形式で丁寧に学習できることを目的としたテキストである。

様式第4号 (教員個人に関する書類)

4.幼稚園教諭・保育士をめざす人のための初年次リメディアル学習ワーク	共	平成 25 年 9 月	著書・監修・編集 開成出版 (全95ページ)	95 (30)	幼稚園教諭・保育士をめざす人に対するリメディアル学習ワークブック。保育現場で使われると考えられる一般常識、日本語、計算、社会、健康の分野の基礎を学習するために作成された。見開き2ページで、左が解説、右が練習問題と授業で使いやすくなっていることが特徴である。(監修, 編著 p.1-6,19-42 を担当)
5.小学校教員をめざす人のための初年次リメディアル学習ワーク	共	平成 26 年 4 月	著書・監修・編集 開成出版 (全68ページ)	68 (12)	小学校教員をめざす人に対するリメディアル学習ワークブック。小学校現場で使われると考えられる一般常識、日本語、計算、社会、健康の分野の基礎を学習するために作成された。見開き2ページで、左が解説、右が練習問題と授業で使いやすくなっていることが特徴である。(監修, 編著 p.29-40 を担当)
6.理科の基礎おさらいドリル	単	平成 28 年 8 月	ベレ出版 (全 261 ページ)	261 (261)	大学生など大人が小学校から中学校、高校の基礎的な理科の内容 (物理・化学・生物・地学) を復習するためのおさらいドリル。「説明+例題+練習問題ドリル」という様式になっている。
(学術論文等)					
1.Flavor-changing interactions with singlet quarks and their implications for the LHC	共	平成 22 年 1 月	Physical Review D81/1,015009(2010)pp.1 ~ 14	14 (14)	標準モデルにシングレット U・D クォーク, シングレットヒッグスを含む電弱ゲージモデルについて理論的考察をする。K,B_d,B_s,D の neutral な中間子混合における新しい粒子によるゲージ・スカラー相互作用の効果を理論的に、また、数値計算によっても検証した。その結果、LHC の本格稼働によって検証される TeV 領域において、new physics の生じる可能性があることが判明した。
2.物理授業でのノートの作成とその教育的効果	共	平成 22 年 1 月	大学の物理教育 VOL.18, NO.2(2012) pp.80-83	4 (4)	物理・化学ノートを作成した。このノートの特徴は、書き込み式であること、ドリルになっていること、見開き2ページ完結であることである。6名に対して、このノートを使用した結果、物理・化学の問題が解けるようになり、また、それらの科目が好きになったという効果があった。
3.The evaluation of a basic training text-book on physics with a method of entry and drill for university students majoring in	単	平成 26 年 2 月	Proceedings of The World Conference on Physics Education 2012	8 (8)	本研究の目的は、小学校教員志望の4年制文科系女子大学生に対して、「書き込み・ドリル式物理学学習ノート」を開発した。この教材を用いて授業をおこなった結果、学生の全員が物理の問題が解けるようになり、その結果、物理嫌いが著しく改善された。また、教材に対しても、書き込み方式、例題と練習問題方式とも大きく支持された。ただし、簡単な問題は解けるようになっているが、2段階の

様式第4号 (教員個人に関する書類)

	liberal arts			by PEGEM AKADE MI pp.163-1 70		手続きを必要とする問題での正答率は低く、今後、これらの問題を解くためにもう1つのステップを追加する必要があるのではないか、そうすることで、さらに物理嫌いが改善するのではないかと考えている。
	4.一般教養の物理における古典的スパイラル授業方法	共	平成28年2月	物理科学月刊誌「パーティ」2016年2月号(丸善出版) p.68	1 (1)	文科系学生対象の大学一般教養の物理授業において、一般的な小学校の授業方法である「初学者として基礎から始める」、「オリジナルドリルテキストを作成し繰り返し学習を行う」、「小テストによる復習と繰り返し学習を行う」、「小テストをコメント付きで即日返却する」を取り入れ、学習動機づけのために就職試験での出題を強調する授業の提案と実践の報告。
	5.Frequency-Weighted Singular Spectrum Analysis for Time Series	共	令和4年7月	Advances in Data Science and Adaptive Analysis NO.40-2 2250009. 1-11	12 (2)	特異スペクトル解析 (SSA) は、時系列のノンパラメトリックスペクトル分解である。時系列は、特異値分解により任意の数の加法的部分系列に正確に分離される。これまでに、我々は、SSA アルゴリズムは、等価的に適応型フィルタの最適化条件として定式化できることを示した。本論文では、最適なフィルタの観点から、スペクトル 重み係数を SSA アルゴリズムに導入することができること、この拡張により、時系列の特定の周波数領域に選択的に焦点を当てることができ、その上で 複雑なスペクトル構造を持つ時系列の詳細な研究が可能となることを示した。(考察一部を担当)
統計学入門	(著書) 1.大学生のための統計学ドリル	共	平成17年12月	晃洋書房(全197ページ)落合史夫	197 (197)	数学力不足の大学生を対象とした小学レベルからの復習とエクセルも使って学習する統計学入門ドリル。(全頁担当。共著者は内容チェック)
キャリアデザイン入門 I	(著書) 1.共感と思いやりの心理～援助職をめざす人のために 2.レジリエンスの心理～援助職をめざす人のために (学術論文等) 1.「子どもの頃の体験が大人になってどのような影響を	共	平成25年12月 平成26年9月 平成25年3月	開成出版(全62ページ) 開成出版(42ページ) 兵庫県青団連調査研究委員	62 (5) 42 (8) 32 (17)	小学校算数教育の中にある失敗や成功体験について心理的な考察をおこなった。(編著 p.34-38を担当) 大学生に対するリメディアル教育が学業不振の回復につながる結果について考察した。(著 p.27-34を担当) 子供のころの体験が、大人になったときにどのような影響を与えているかを確認するために実施した。その結果、子ど

様式第4号 (教員個人に関する書類)

及ぼすか」に関する調査～未来へはばたく子どもたちのために			会) 32p		ものころの体験活動が役立っていると多くの人が考えていて、特に困難な体験については高い年代ほど役立っていると考えていることが分かった。
2.大学生の資格に対する意識についての考察	共	平成26年3月	基盤教育論集第1号 (追手門学院大学基盤教育機構) pp.1-14	14 (14)	「資格の定義・区分による知識はあいまいなままで、就職のために資格を取得したいと考え、資格指導をおこなっている大学等を進学先を選んで進学する。学後も就職に直結すると考えて資格に関係する授業を熱心に受講し勉強する。実際に合格するとますますやる気がわいてきてさらに勉強するようになる。」という像が推定できた。
3.文科系学生就職支援のための数学教育の必要性	共	平成26年3月	教育研究所紀要第32号 (追手門学院大学教育研究所) pp.141-150	(10) 5	基礎的な数学力が低下した現代の私立文科系大学生へのあるべき数学教育について考察した。まずは、大学生の現状を把握し、次に数学が重視されている就職試験の内容を概観する。そのあと、どうして就職試験で数学が重視されているか考察する。最後に、本学の取り組み事例を紹介する。(p.141-143,149-150を担当)
4.児童期の異世代交流体験が及ぼす効果に関する意識調査の分析 (資料)	単	平成29年1月	日本世代間交流会誌第6巻第1号, pp.59-68	10 (10)	兵庫県内在住者225人を標本として、子どもの頃の体験活動についてのアンケート調査をおこない、その中の異世代交流活動についての評価・未体験率を分析した。7つの異世代交流体験は年代、性別、在住地域、兄弟姉妹の有無にかかわらず、どのような集団からも大人になって役立つものであったとされた。
5.就職試験における数的処理分野の出題状況と出題意図についての考察	共	平成29年3月	一貫連携教育機構紀要第3号 pp.49-56	8 (8)	就職適性試験や公務員・教員採用試験の出題傾向を調査し、その出題意義について考察した。
6.キャリア教育・就職支援に秘書技能検定が果たす役割～検定問題と社会人基礎力の比較分析		令和5年1月	大阪樟蔭女子大学研究紀要NO13 p.151-157	7 (7)	秘書技能検定2・3級の過去問題3回分の全問題を3つの社会人基礎力に分類した結果、これらの検定は、「単なる秘書になるための知識」の修得のみならず「問題解決力」「思考力・判断力」の養成に利用されていることが判明した。